

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 27 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 4 月 22 日(水)			
開催時間	開会	16 : 30	閉会	18 : 00
開催場所	箕輪町防災交流施設みのわ BASE2 階 会議室 2			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏、政金裕太氏 O L :			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎企画政策課長補佐 村田和也新産業技術推進係長			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、鈴木孝之氏、細谷啓太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
議事	1、2026 年度のまちなかエリア高度化 WG の取組、スケジュールについて			

議事項目	概要	次のステップ
1、2026 年度のまちなかエリア高度化 WG の取組、スケジュールについて		
地域未来交付金採択事業について	○事務局 ー 地域未来交付金採択事業「官民共創の新しいまちづくりによる賑わい交流創出プロジェクト」内の、「駅周辺及びまちなかウォークアブルエリアの賑わい・交流創出事業」について説明ー ・ 事業費の使い方としては、何かを購入したり、レンタルしたりといったこと諸々含めて、事業者に委託する形がやりやすい。 ・ 「対話・つながり・実現の場」の講師報償等は別予算で昨年並である。	
パーキングデイについて	○事務局 ・ 前述の交付金採択事業について 6 月議会で補正予算の議決をいただくことを考えると、5 月中くらいにはまちなかエリア高度化 WG で何をするかをある程度決めておきたい。 ・ パーキングデイを開催するという方向はよいと思う。 ○WG メンバー ・ 「PARKnize（パークナイズ）」という本を読んだが、パーキングデイの取組は素晴らしいとあらためて思ったし、伊那市の今の状況に合っていると思う。	

	・パーキングデイには、いつも駐車場であるところを公園化して人が集まるようにする、そのために必要な芝生やテント、椅子などを置いてみるというイメージを持っている。 ○WG メンバー ・パーキングデイは「Park (ing) Day」と表記する。Parking（駐車場）と Park（公園）の現在進行形を掛けている。 ・個人的には、運動会のときに使うようなテントは使いたくない。公共的な催しが行われている感じが否めない。 ・もっと手づくり感がほしい。そのためにどういった空間にしたいかというビジョンが先にあり、それに必要なものは何か？という順序で考えるのがよい。 ○WG メンバー ・前回の WG で話したように、まちなかエリアで何が起こってほしいかをまず話し合い、そのためにはどんな仕掛けが必要かという順序で考えていけばよいのではないかと。 ・起こってほしいことには、この WG のキーワードである「歩きたくなる」、「情報が集まる」、「多世代が関わる」という視点が入ってくるとよい。 ○WG メンバー ・そういった意味では、17 とりどり祭の日(10/31(土))と同時開催するのが良いと思う。伊那北駅周辺とパーキングデイ実施場所とを回遊するイメージである。 ○WG メンバー ・山寺駐車場は位置的にも伊那北駅に近く、市営駐車場なので借りやすさもあると思われ、1つの候補地になりそうである。 ○WG メンバー ・4月から自転車の青切符制度が始まったが、学生に話を聞くと、「自転車で車道を走るのはひかれそうで怖い」と言う。一方で「自転車は車道を走りなさい」という看板が立っていたりして自転車に乗っていると肩身が狭いらしい。 ・自転車専用道路があれば安全だろうが、制度にハードが追いついていないと感じている。「まちなかエリアを安全に移動する」という話はまちなかエリア高度化 WG のテーマにもなりうる問題だと感じている。都会の理論でできあがった制度のような気がしてモヤモヤしている。	
--	--	--

日本福祉大学との連携について	・パーキングデイに合わせて、実際にこれくらいの幅が自転車専用道路としてあれば走りやすいという線をチョークで車道に引いてみるのも面白いかもしれない。 ○WG メンバー ・9月18日(金)の世界的なパーキングデイに合わせるか、10月31日(土)の17とりどり祭に合わせるか、両日開催するかどのようなイメージか。 ○事務局 ・どちらか1回のイメージである。17とりどり祭に合わせたほうが、準備期間にも余裕があり、参加者も見込めるので良い気がする。 ○WG メンバー ・パーキングデイの内容を考える前に、ランドスケープ界隈で公共空間の話をしていただける専門家を招いて「対話・つながり・実現の場（勉強会）」を開催するという話があった。自分が所属している(一社)ランドスケープアーキテクト連盟に所属している大学の先生や実務者が講師を引き受けてくれると思う。 ・(一社)ランドスケープアーキテクト連盟は、大学の先生や研究者もいるが、わりと実務者が多い集まりである。もう一つ(公財)日本造園学会という団体もあり、そちらは割とアカデミックな団体である。 ・自分は両方の団体に所属しており、自分から話をしてくれそうな専門家をお願いすることもできるし、パーキングデイを実際やられた方に話をしてもらうのもよい。自分が話をしても良いと思っている。 ・パーキングデイ開催に向けて勉強を重ね、一緒に考える仲間を集めていくイメージを持っている。 ○事務局 - ー日本福祉大学工学部の学生による伊那市をフィールドとしたワークショップの説明ー ・昨年度から日本福祉大学が伊那市のまちづくりの取組に興味を持っていたい。 ・今年2月には、伊那市のまちなかエリアの気になる場所を写真に撮り冊子にまとめるというまちなかエリアの魅力を再発見するワークショップを開催していただいた。 ・今後7月と8月に2回ワークショップを開催する予定がある。2月のワークショップを受けて、まちなかエリアに学生が作成したストリートファニチャー	
-----------------------	--	--

「対話・つながり・実現の場（勉強会）」の開催について	を設置することで魅力を発信し、まちなかエリアの活性化を図るという内容である。 ・日本福祉大学の取組は、まちなかエリア高度化 WG の取組と非常に親和性が高いと思われ、連携をしていきたいと考えている。 ・学生に「対話・つながり・実現の場（勉強会）」に参加してもらったり、パーキングデイでも学生のアイデアが実際に形になればよいと思う。 ○WG メンバー ・日本福祉大学のワークショップでは、学生の自由な発想から成果が生まれるのがよいと思う。われわれが横からパーキングデイという概念を持ち出して、学生がそれに引っ張られてはいけないと思う。 ○事務局 ・学生を惑わせない程度に、「パーキングデイという概念をインプットできる機会があります」という程度の案内をしてみたい。いろいろな知識があった方が研究にも役立つと思う。 ・ワークショップでは、ストリートファニチャーを作成して設置したり、空き家のリノベーションのようなことをしたいのだと思う。 ○WG メンバー ・個人的にはすごく参加してみたいワークショップである。ストリートファニチャーの設置場所を誰がどういった理由で選定するか、そのプロセスに非常に興味がある。 ○事務局 ・10月31日(土)の17とりどり祭を目標とすると、そろそろ「対話・つながり・実現の場（勉強会）」の準備を始めないといけないタイミングである。 ○WG メンバー ・パーキングデイは、「公共空間は行政のものでも民間のものでもなくて私たちのもの」、「公共空間を市民の元に取り戻そう」という潮流から生まれたものである。パーキングデイだけを解説するのではなく、「オープンスペースと都市」といった大きなレクチャーの中にパーキングデイがあるという話ができると学生の皆さんにも納得いただけると思う。 ○WG メンバー ・17とりどり祭までに開催できる「対話・つながり・実現の場」は2回程度だと思う。 ○事務局	
-----------------------------------	--	--

パーキングデイで 何をするか	・まず6月に開催し、そこでの対話の内容を受け、「まちなかエリアのどこで何ができるか」という視点で7月、8月の日本福祉大学のワークショップに誘導したい。 ○WG メンバー ・そうすると 6月 対話・つながり・実現の場（勉強会） 7月 日本福祉大学ワークショップ 8月 日本福祉大学ワークショップ 9月 対話・つながり・実現の場 （パーキングデイ事前打合せ） 10月 パーキングデイ と毎月何かしら開催していくイメージになる。 ・そもそもパーキングデイとはどんなことをやるのか。参加者がいろいろ持ち寄ってくるイメージか。 ○WG メンバー ・ガチガチの定義はない。「公共空間に人がいる」、「ベンチがあれば誰かが座る」、何か出し物があるとかではなく、どちらか言えば日常の公園みたいな感じである。 ・ただ、お店が周辺にあるのであれば、お店で買った物をそこで座って食べる人がいたりもするし、周辺の空間とのシナジーは起こる。 ・何時から何をやりますみたいなイベントもない。 ・少しアクティブな参加型とするならば、みんなで道路にチョークで走りやすい幅の自転車道を書いてみるといった内容になる。 ○WG メンバー ・まちなかエリアで何が起こってほしいかを挙げ、そのために必要なもの、例えば椅子であったりを用意すれば、事前に出店者を頼むというようなことはしない方がよいか。 ○WG メンバー ・別にしてもよいし、しなくてもよい。 ○WG メンバー ・17とりどり祭は出店があったり、プログラムがあったり完全なイベントである。一方パーキングデイは、滞在する人はいるかもしれないけれど、通りすがりの人には何もやっていないように見えるかもしれない。それはそれでよしとするか。 ○WG メンバー ・パーキングデイは描きたい日常をそこに作るという感じなので、それでよい。例えば山寺駐車を将来	
---------------------------	--	--

	的に公園にしたいのであれば、その未来を 1 日だけ体験してみるというイメージである。もし山寺駐車場を出店がたくさんある賑わっている公園にしたいのであれば、そういう 1 日を作れば良い。 ・パーキングデイの取組は周知するけれども、無理矢理その日にそこにたくさん人に来てもらうように仕掛けなくてもよい。 ・何人立ち寄ったかというモニタリングは必要だが、KPI のような目標も立てなくてよい。 ○WG メンバー ・どのような状況になるかイメージできるだろうか。 ○事務局 ・場を作ったけれど誰もいないみたいな感じになるとたしかに怖い。 ・どんなことが起こってほしいか事前の対話の中で挙げてもらい、例えば伊那橋の欄干でお酒を飲みたいであるとか、小沢川のほとりで BBQ をしたいといった話が出てきたら実現するような仕掛けをしていくということなのではないか。 ・逆算すると、6 月開催の「対話・つながり・実現の場（勉強会）」で、まちなかエリアでどんなことが起こってほしいかという対話までしたい。 ○WG メンバー ・今までと同じようなフォーマットであるが、半分インプット、半分アイデア出しという構成でよいのではないか。 ○WG メンバー ・起こってほしいことのアイデアの中では、実現不可能なものも出てくると思う。そのあたりの仕分けや、盗難、破損、近所迷惑等の対応も出てくる。 ・例えば 1 週間程度やるのであれば、平日に見かけて気になったから週末行ってみようとなるかもしれないが、1 日開催だと難しいかもしれない。 ○事務局 ・可能であれば 10 月 31 日(土)に向けて 1 週間程度やってもよいかもしれない。 ○WG メンバー ・パーキングデイの概念的なこととともに運営方法も勉強したい。 ○WG メンバー ・私の携わってきたパーキングデイはそんなにスペースが広くなかった。駐車場 1 台分であったり、3 m × 5 m くらいのスペースにベンチを置く程度であ	
--	--	--

まちなかエリアの移動手段の体験について	る。山寺駐車場くらいのスペースを全部占有すると なると相当気にしなければいけないことが出てきて しまう。 ・日本で過去に行われたパーキングデイの例を見ても 多分駐車場3台程度ではないか。 ○WG メンバー ・無理なくやるのが良いのだと思うが、インパクト に欠けて、印象に残らずに終わってしまう懸念もあ る。 ・ある程度市の予算を使って取り組むのであれば、多 くの人に公共空間をもっと活用したいと思ってもら えるようなインパクトは残したい。 ○WG メンバー ・自分がアメリカでやっていたパーキングデイも確か に内輪でやっていた。やりたい人が仲間で集まっ て、そこでお酒を飲んだりワイワイするだけで、別 にみんなに来てくださいと言っているわけでもな く、それを見て何か感じてもらえればラッキーくら いな感じでやっていた。 ・もしインパクトを残したいとすると2つ方法があ り、山寺駐車場全体くらいの規模で大きくやるか、 小規模でも1週間程度、何か所かに分散してやるか である。 ・世界的には小規模でやっているが、規模感を変える ならば、パーキングデイとは違う伊那市独自の呼び 方にしてもよいと思う。 ○WG メンバー ・自分のイメージでは、山寺駐車場くらいの規模が公 園になって、高校生に「こんな場所があったらいい よね」と思ってもらえたり、「そういえば伊那北駅 周辺にこういったものがなかったよね」と気づいて もらえたりすれば1つの成功であると思っている。 ・山寺駐車場は伊那北駅に近いという点で人が集まっ てくれそうなのがメリットである。伊那北駅から離 れた場所で開催するならば行ってみようというイン パクトがあるものが必要になってくる。 ○事務局 ・例えば、その日だけ電動キックボードを借りられる ようにして、路肩の安全性も確認してもらいなが ら、移動の体験をしてもらうのはどうか。 ○WG メンバー	
----------------------------	---	--

	・電動キックボードにセンサーを付けて振動の回数を測って道路の運転のしやすさなどが測定できればよい ・パーキングデイを開催しているところが何か所かあって、その移動手段として同時に検証するのも面白い。 ・まちなかエリアの空き地のココを使えたら面白いであるとか、ココからココへ移動するためには、交通規制が必要といったことを話し合う参考に、空き地が俯瞰できる地図があるとよい。 ○WG メンバー ・6月開催予定の「対話・つながり・実現の場（勉強会）」では、公共空間の活用という大きなテーマの講義から始まり、駐車場を公園に変えていくパーキングデイの手法・運営方法を学び、まちなかエリアで起きてほしいことを対話し、10月31日(土)に17とりどり祭にあわせて開催するパーキングデイ（仮称）に向けた仲間集めをしたい。	
--	--	--

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・5月上旬

<対話・つながり・実現の場（勉強会）>

- ・6月中

<日本福祉大学坂口ゼミ ワークショップと連携>

- ・7月 第2回
- ・8月 第3回

<対話・つながり・実現の場>

- ・9月中

<パーキングデイ（仮称）>

- ・10月31日（土）